

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 19 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 21 日 作成

事務事業名		温泉協会参画事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気であふれるまちづくり			所属部	産業振興部	課長名	米澤 俊一
	施策	15	健康づくりの推進			所属課	商工振興課	担当者名	渡辺 良輔
	基本事業	43	病気になるらない生活習慣の確立			所属班	商工・企業誘致班	(内線)	1251
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果	12
		1	7	1	2	10364	・熊本県温泉協会規約 ・熊本県温泉協会菊池支部規約	コスト削減優先度評価結果	6
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度)		
							<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	熊本県温泉協会及び菊池支部の活動に参画する事業
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	13年度にユーパレス弁天が開業したことに伴い、温泉所在地として、熊本県温泉協会に加入。また協会の活動の目的達成のための地域支部である菊池支部へ参画。 温泉を利用する旅館・公衆浴場等と温泉所在地の市町村及び県が一体となって、温泉の保護と適正利用を全県的に推進するための組織を結成し、その活動を通じて温泉の永続的で安定的な利用の確保を図ることを目的として平成7年3月22日に熊本県温泉協会が設立された。また、その目的を達成するため各地域支部において活動する菊池支部の趣旨に賛同し、温泉施設:ユーパレス弁天を有する市として参画するものであり、合併に伴い、合志市が引き継ぐこととなった。この参画事業により、温泉業界を取り巻く最新の情報がユーパレス弁天の温泉施設管理者へ提供を行い、温泉利用者が安全な温泉利用が出来るよう、熊本県温泉協会菊池支部特別会員として年会費を支出。菊池支部が開催する総会への出席。県温泉協会が主催する研修、セミナー事業への参加。
【業務の流れ】	
【主な予算費目】	負担金、補助及び交付金
【意見や要望】	利用者から、近年は温泉を活用した運動、体カトレーニングに取り組む人が増え、健康保持を温泉の効能に期待する根強い声がある。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
・年会費の支払(熊本県温泉協会 30,000円、熊本県温泉協会菊池支部 5,000円) ・総会、セミナーへの参加 ・温泉に関する情報をユーパレス弁天へ提供する。	22年度より【11284総合健康センター施設維持管理事業】へ統合し事業を展開していく
④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
⇒ ア 年会費支払い件数 件 ⇒ イ 協会主催事業への参加回数 回	⇒ ア 市管理温泉施設利用者数 人 ⇒ イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑥ 成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
・市所有温泉施設利用者(ユーパレス弁天)、市民で市外の温泉施設を利用する者は含まない。	⇒ ア 入手した必要情報数 件 ⇒ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	
・温泉協会の活動を知ってもらい、温泉の保護と適正利用、安全な温泉利用をしてもらう。	
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	
22年度より【11284総合健康センター施設維持管理事業】へ統合する	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度実績(決算)	20年度実績(決算)	21年度目標(当初予算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	23年度予定	24年度見込
④ 活動指標	ア	件		2	2	2	2	2	
	イ	回		3	3	3	3	3	
⑤ 対象指標	ア	人		260000	260000	260000	260000	260000	
	イ								
⑥ 成果指標	ア	件		3	3	3	3	3	
	イ								
投資入量	事業内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
	一般財源	千円		35	35	35	35	35	
	(A) 事業費計	千円	0	35	35	35	35	35	0
人件費	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円							
	正規職員従事人数	人		2	2	3	2	2	
	延べ業務時間	時間		12	20	22	20	20	
	(B)人件費計	千円	0	48	80	88	80	80	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	83	115	123	115	115	

総トータルコスト	
全体計画	
～ 年度	
(期間限定複数年度のみ記載)	
	0
	0
	0

事務事業名	温泉協会参画事業	所属部	産業振興部	所属課	商工振興課
-------	----------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

現状維持であり、反省点もなし

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善(有効性改善)
 事業のやり方改善(効率性改善) 事業のやり方改善(公平性改善)
 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

【総合健康センター施設維持管理事業】へ統合することにより、事務事業の簡素化が図れ、コスト削減と成果の向上が図れる

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持	○		
	低下			

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

特になし